

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.6-19)

件名	分析装置からの放射性物質の漏えい						
事象の概要							
(1) 発生場所・機器	分析建屋：分析装置						
(2) 発生の状況	分析装置による放射性物質の分析作業中						
(3) 概要	分析装置の廃ガスダクト継手部等からの放射性物質の漏えい * 他の建屋も含め同種の機器においても同様の事象の発生が予想される。						
事象による影響							
(1) 工場外への影響	工場外への影響は生じない。 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業なので、放射性物質の放出等、工場外への影響は生じない。						
(2) 安全性への影響	安全上の問題は生じない。 分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での漏えいであり、除染・復旧作業を定められた手順に従い実施することで、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。						
(3) 作業員への影響	作業員への影響は生じない。 作業員については異常被ばくのないこと、身体汚染のないことを確認し、万一身体汚染等が認められた場合は、直ちに汚染を除去することによって作業員の安全を確保する。 また、分析装置の保守作業に当たっては、定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。						
(4) 他工程への影響	他工程への影響は生じない。 必要に応じ、他室の分析装置を使用して作業を続行できることから、他工程への影響は生じない。						
対応の概要	(1) 分析装置の廃ガスダクト継手部等の漏えい箇所の確認。 (2) 定められた作業計画(安全管理・放射線管理を考慮した保守手順書)に従って保守する。 (3) 保守終了後、定められた手順に従い分析作業を再開する。						
公表区分	翌平日に公表(ホームページへ掲載)						
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;"> 国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化 </td> </tr> <tr> <td>(b) 運転系統を切り替えて復旧</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化	(b) 運転系統を切り替えて復旧	(c) 当該機器を停止して復旧	(d) 当該設備を停止して復旧	(e) 影響範囲の設備を停止
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル 日本原燃による評価: レベル0以下 (レベル2以下は工場外への影響はない) 放射性物質の外部放出 工場外への影響 放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響 運転制限範囲からの逸脱等 多重防護の劣化						
(b) 運転系統を切り替えて復旧							
(c) 当該機器を停止して復旧							
(d) 当該設備を停止して復旧							
(e) 影響範囲の設備を停止							

